

Mochi-Mochi Fes 10・10

～企画ご提案～

モチモチフェス実行委員会

誇り高き薩摩の迎賓館：世界を魅了した「磯」の歴史的価値



Step 1

1658年の開園

島津家19代光久によって築かれた別邸・仙巖園。桜島を築山、錦江湾を池に見立てた壮大な「借景庭園」。

Step 2

近代化の中心地

反射炉跡に代表される集成館事業（世界文化遺産）の舞台であり、日本の産業界の発祥地。

Step 3

世界水準のおもてなし

1866年、英国公使ハリー・パークスが錫門を通して接待を受け、「少なくとも3年間滞在したい」と絶賛した国際的な迎賓空間。

武士の魂が宿るソウルフード「ちゃんぼ餅」の系譜



起源: 武士の二本差し（刀）になぞらえた2本の竹串。

系譜: 向田邦子氏ら文豪にも愛された、江戸時代から続く磯地区の名物。

奇跡のスイーツ・ストリート (Iso Sanctuary Map)



伝統的資産と若年層の共存、そして新たな「チル・スポット」へ

Asset

伝統的資産（仙巖園）の歴史的価値と、現代の若者文化との接点を模索する。



Spark (機会)

若年層の視点を取り入れ、既存の資産に新たな価値を見出し、「チル・スポット」として再定義する。



Core Objective

伝統的資産と若年層が共鳴する、新たな「チル・スポット」を創出し、持続可能な観光モデルを確立する。

伝統と海辺のチルが交差する1日 「Mochi-Mochi Fes 10・10」



Emotion:

夕暮れに灯る感動の灯籠とランタン



Taste:

もちもちフードの再定義

Tradition × **Modern Chill** = **New Cultural Synergy**
(歴史・ちゃんぽ餅) (絶景カフェ・海) (新たな熱狂)



Play:

絶景をフル活用した海遊び



Vibe:

海が似合うオーガニック音楽

A person is sitting on a beach at sunset, playing an acoustic guitar. The sun is low on the horizon, casting a warm orange glow over the ocean and the person. The person is in silhouette, and the waves are gently lapping at the shore.

Sound of Iso: 波の音と共鳴する アコースティック・ライブ

Concept

波の音、海風、そして桜島の絶景に溶け込むオーガニックなサウンド。

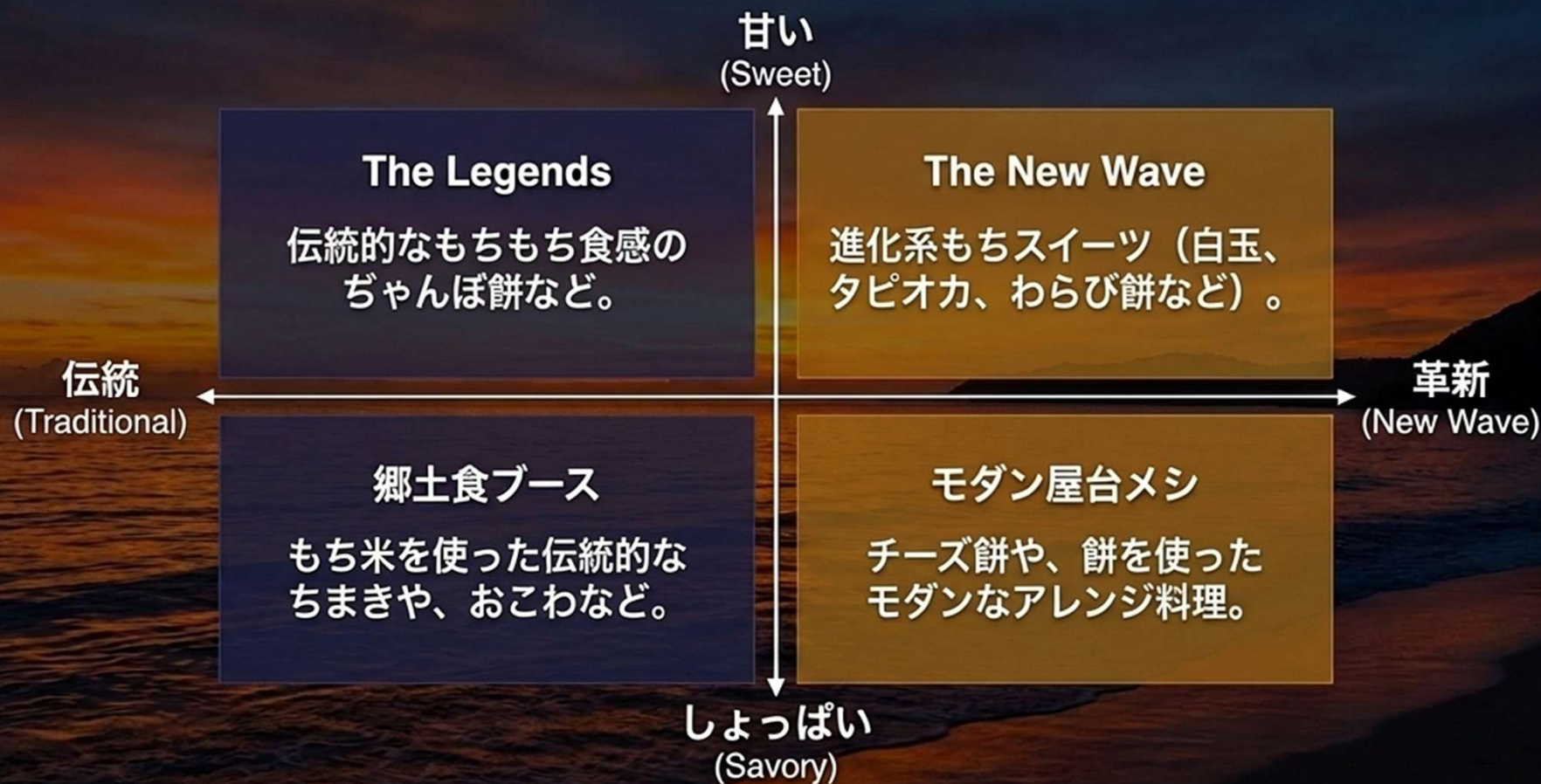
Curation

GOOD FELLOWS COFFEEのゆったりとした空気に共鳴する、「海が似合う」話題のアーティストを厳選招待。

Target Response

若者が思わず砂浜に座り込んで聴き入り、SNSのストーリーズで共有したくなる極上のチルアウト空間の創出。

「もちもち」マトリックス：伝統の味から進化系スイーツまで



Takeaway: 写真映えと食べ歩きを楽しさを両立させ、Z世代の「シェアしたくなる食体験」をデザイン。

絶景を「見る」から「遊ぶ」へ：デイ・アクティビティ

Sea Play (海と遊ぶ)

晴天の錦江湾でSUPやシーカヤック。
桜島に向かって漕ぎ出す非日常の体験。



Beach Chill (絶景と遊ぶ)

砂浜でのビーチヨガや、テラス席で絶
景を眺めながら極上のリラックスタイム。



Takeaway: 日本有数のロケーションをフィジカルに体験し、
滞在時間を大幅に引き延ばす仕掛け。

世代を超えた熱狂：みんなで「1000人餅つき」セッション



01

Observe (観る)

職人による大迫力の餅つきパフォーマンスで会場の熱気を高める。



02

Participate (参加する)

観光客や若者が飛び入り参加し、地元民と共同作業で餅をつく。



03

Share (分かち合う)

つくたての餅をその場で振る舞い、世代や地域を超えたコミュニケーションの輪を広げる。

Takeaway: 単なる「来場者」ではなく「参加者」へと変えることで、地域への強い愛着（シビックプライド）を生み出す。

Experience Journey: 朝から夜まで続く熱量のデザイン

Time-based Activation Curve



Takeaway: 長時間滞在を前提とした設計により、周辺店舗（カフェ、飲食店、土産物店）への経済波及効果を最大化する。

Vision: 一過性のイベントから、次世代の「風物詩」へ

新たな文化遺産

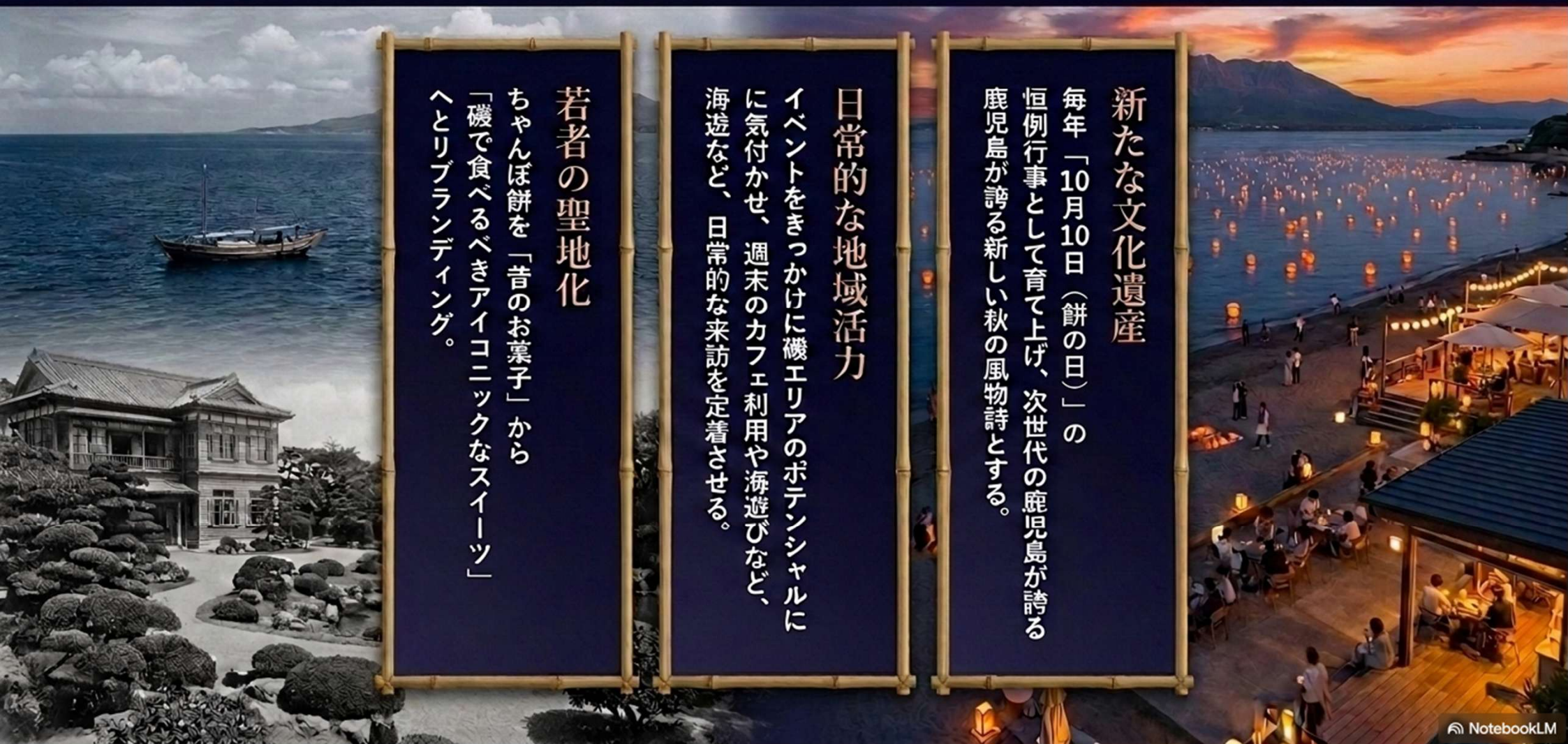
毎年「10月10日（餅の日）」の
恒例行事として育て上げ、次世代の鹿兒島が誇る
鹿兒島が誇る新しい秋の風物詩とする。

日常的な地域活力

イベントをきっかけに磯エリアのポテンシャルに
気付かせ、週末のカフェ利用や海遊びなど、
海遊びなど、日常的な来訪を定着させる。

若者の聖地化

ちゃんぽ餅を「昔のお菓子」から
「磯で食べるべきアイコニックなスイーツ」
へとリブランディング。



歴史の風が吹く海辺で、新しい波を起こそう。

薩摩の迎賓館として世界を驚かせたこの場所から、もう一度、新しい熱狂を。
皆様と共に「Mochi-Mochi Fes 10・10」を創り上げる日を楽しみにしています。

モチモチフェス実行委員会
☎：090-4987-1845（西）